

1991~1992 RIテーマ

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

RI会長 ラジェンドラ・K・サバー



例会 NO 56

Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

No 2- 22 1991. 12. 18 発行

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1991~1992年度クラブ目標 “親睦と奉仕の流れを創ろう”

第56回例会報告 (12/11)

特別代表 由井 重光

司会 SAA 佐伯 和廣

☆点 鐘
会長 田中 實

☆ロータリーソング
「奉仕の理想」
ソングリーダー

海野 栄一

☆お客様紹介

会長 田中 實

関戸新一郎 (東京八王子R)

桜井 信成 (東京府中R C)

本山 栄一 (東京成城新R C)



☆会長報告 会長 田中 實

※12/5ダークマン会長
エレクトの来日歓迎
会を予定していまし
たところ、氏が健康
を害し代わりにチャ
ック・ケーラー前会
長が来 日され、将
来の構想等の講演が
ありました。大変感銘を受けました。



☆幹事報告 幹事 宮本 誠

※他クラブの例会変更

*東京府中R C

1992年

1 / 1 (水)

休会

1 / 8 (水)

夜間例会

1 / 15 (水)

成人の日・休会

3 / 11 (水) 第2750地区大会に振替

3 / 25 (水) 3 / 26 (木) 夜間例会

4 / 1 (水) 創立30周年記念式典

京王プラザホテル

なお・3/4(水) 例会日より現例会場改築工
事のため、例会場を変更

新例会場：安田信託銀行府中支店3階

*東京武蔵府中R C

12 / 20 (金) 夜間例会(年次総会)

12 / 27 (金) 休会

1992年

1 / 3 (金) 休会

1 / 10 (金) 夜間例会(新年会)

2 / 14 (金) 移動例会(北海道雪祭り)
に振替

*東京調布R C

12 / 16 (月) 12 / 18 調布むらさきR Cと
の合同Xマス会に振替(京王プラザH)

12 / 30 (月) 休会

1992年 1 / 6 (月) 1 / 9 (木) 夜間例会



(新年会：於濱の家)

※東京多摩RCの社会奉仕委員会の活動結果として(ゴミバイバイ大作戦)という歌が作られ、テープが送られてきましたので、ここでご披露します。

☆委員会報告
★親睦委員会

奥木 博勝

ニコニコBOX

桜井 信成

(東京府中RC)
メイクアップに参りました。お世話になります。

由井 重光

(特別代表)菊地さんビック24の開店おめでとうございます。

菊地 敏 無事皆様のお蔭で支店事業の方もうまく滑り出しました。今後ともよろしくお願い致します。

小島周一郎 府中RC桜井様ようこそお出でくださいました。

杉田 誠 先週はMUで失礼しました。

小坂 一郎 高野さんいろいろ有難うございました。無事終わりました。

田中 實 戦友の奥さんより嬉しい便りがありました。

吉沢 洋景 本日は私のイニシエーションスピーチです。お手やわらかに。

伊神 稔 いつものように。

北村 幸彦 今日は写真班で頑張ります。

宮本 誠 東京の冬は天気が良くて好きです。

以上合計 28,000円

※ クリスマスパーティのご案内

昨年同様楽しいXマスパーティを行います。全員奥様同伴でご出席下さい。

*日時：12月25日
(火)例会后
9時まで

*場所：例会場



*会費：会員のみ 10,000円
ご夫妻 20,000円
お子様 無料

なおチャリティバザーを催しますので、会員1人につき1品3,000円以上の品を必ずご持参下さい。

★出席委員会
〔出席報告〕

吉原光太郎

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	43	35	1	7	83.72%
前回訂正	43	33	3	7	83.72%

〔先週のメイクアップ〕

遠藤 二郎 12/3

(東京多摩RC)

風間 茂穂 12/6

(パロ・アルトRC)

杉田 誠 12/6

(東京武蔵府中RC)

〔欠席者届〕

橋口 洋二、増川 徹、隅 耕造
吉田 文夫、中山順一郎

〔欠席者〕

内藤 實、高野 範城、横倉 恒雄



〔災害対策強力に対する表彰：

都庁災害対策部長石川雅己様より〕

イニシエーションスピーチ
「私の今日まで」

吉沢 洋景

私は終戦直後の昭和21年1月の生まれです。帝国海軍の軍人であった父は太平洋の景色という意味で私の名を命名したようです。

戦後の混乱した東京を避けて母方祖母の郷里である岩手で生まれ、間もなく食糧事情の

まだましな父の郷里信州は中央線諏訪の先で飯田線の分岐点である辰野町へと移され天竜川の辺りで幼児期を過ごしました。小学校入学前に、ようやく落ち着きを取り戻しつつあった東京の両親の許にもどされました。誕生以来寒い地方で育ったせいかな寒さには至って強いのですが、暑さには弱く夏は閉口致します。小学生の頃の遊びはもっぱらザリガコと鮫採り、網とバケツを持って京王線沿いの玉川上水を新宿淀橋浄水場まで追って行きました。丁度今の京王線が幡ヶ谷で地下に潜るあたりから西口の高層ビル街までです。しかしこうした楽しみも長くは続きませんでした。環境の急速な復興と、当時すでに東京で進んでいた私立中学への受験志向の為です。今更ながらに異常な塾ブームが話題になっておりますが、その頃クラスの半分以上が塾通いで私も小学5年から2つの進学塾をかけもちで文字通りの月月火水木金金でありました。話を戻しますと、その頃高い建造物といえば新宿では三光町の伊勢丹の7F、角筈のガスタンク位がせいぜいでした。そんな折中学受験当日、半分まで出来上がった東京タワーを初めて見た時は驚きであり、幻想的な気持ちで眺めた光景が未だに鮮明に焼き付いております。中学、高校と進み、慈恵医大を卒業するまで12年間の学生時代を港区で過ごしました。医大卒後は内科を専攻し、新橋愛宕の本院、国領の第3分院と渡り歩きましたが、一般常識では考えられないでしょうが、いわゆる無給医であり、給料が貰えるまでには更に10年はかかると言われておりました。そんな時に川崎市の新設医大聖マリアンナ医大で給料をくれると云うので、同級生3人と共に同大へ移籍しました。ここでの15年間に内科医としての貴重な経験をさせていただきだけでなく、講師、内科主任医長と次々にポストを頂戴し、医療の面だけでなく学生の医学教育、博士論文の指導、又患者等とのトラブルの折衝などに携わりました。最後には医局長として、い



わば教授の参謀役を命ぜられ、人の管理をする事まで学ばせて頂きました。

昭和63年の正月に父を亡くし家業の病院と診療所の管理を弟に頼んでいたのですが、昨年末をもって大学を辞し弟と共に家業の継承に専念することになりました。この一年ではやくも思い知らされたことは、長い大学生活はまるで心地良い温室の中の様であり、外の実社会はそんな甘いものではなく、はるかに厳しいものであるということであります。今考えると対人的にも尊大な態度でふるまっていれば済んで来たことが多いのであり、他人に仕えること、人に頭を下げるという機会がほとんど無かったということです。遅ればせながらこれから世の中を勉強しなければならぬと痛感しております。幸いにもここで皆様の如き多数の良き知人を得ましたことは天祐であると感謝せねばなりません。何卒宜しくこの未熟者を御指導下さいませお願い申し上げます。私のイニシエーション・スピーチと致します。

〔私の薬局の経営信念〕

小坂 一郎

ロータリーに入会して、まだ間もない私です。はじめに自己紹介とお店の経営信念についてお話ししたいと思います。

私は昭和13年4月の誕生、寅年の生まれです。小学校一年生の時は、国民学校に入学、その年終戦でした。八王子寺町に生まれ、生まれつきの薬局人だったので、高校は都立第二商業高校でして、これについては父親が私の意志とは関係なく、受験校を決めてしまいました。

そして言うには「これからは、ホワイトカラーの時代だ。だから商業学校を出て銀行にでも勤めなさい。親の職業の薬局は継がないでよい。薬大にも進学しなくてよい」と言うのです。私の名前は一郎ですから、長男なのです。4人兄弟の長男ですから、本来なら親



の後継ぎが本当なんです、商業高校を卒業し、銀行に勤めろと云うんです。

これは多分父親の突き放す様な教育だったと感じていました。

三年生になった時、母親が来て「お前大学はどうするのだ」と言うんです。そこで薬大に進みたいと言いましたら、では父親の所に一緒に言ってお願いしようと言ってくれました。私は父親の前に畏まり、大学に行きたいと言いましたら、自分で全てやるなら良いということと言われ、授業料から小遣いまでアルバイトをして卒業しました。

卒業して、ユンケルでお馴染みのサトー製薬に就職しまして、19年前に愛宕に開局し、現在に至っています。現在ニュータウンの中に六店舗薬局を持っています。こちらのそこうの中にも81にあります。我が社の一番優秀な社員を送っています。

さて私の店の経営信念ですが、薬局経営社の集まりであります社団法人日本薬局協会に属しています。この団体は社団法人ですから利益追求ではありません。全国組織でして、社会に特に、身障者団体とか、視覚不自由団体とか、覚せい剤濫用防止推進団体とかに寄付を行ったり、全国大会などの時には、市民も含めて、健康に関するセミナーを開催します。また自分達は薬のこと、健康に関することを勉強します。選ばれた人が話しますが、この時は先生であり、聴く立場に立ったときは生徒として参加します。

この団体では、協励十訓がありますので紹介します。

- 一、真実を語り合ひましょう
- 二、率直な心で信じ合ひましょう
- 三、言動に責任をもち常に反省しましょう
- 四、グループ会には必ず出席して研究しましょう
- 五、努力と実行を怠らないようにしましょう

五、薬局の信頼と品位の向上を心がけましょう

七、病む人に希望と安心を与えましょう

八、経営を計画的にいたしましょう

九、積極的な考えをもって働きましょう

十、希望に燃えて強く生きましょう

の十の教訓をもって運営しています。

そしてこの会に属している薬局の先生方は一生懸命勉強しています。

最後になりましたが、私のお店の信念をお話ししますが、これも協会に属している各薬局の信念でもあります。

私の薬局の信念

- 1 自信のある薬を差し上げたか
- 2 本当に親切であったか
- 3 十分に説明して差し上げたか
- 4 満足してもらえたか
- 5 努力に不足はなかったか

以上の五つの信念で経営しています。まだまだ社員の教育は到らないと思っています。今後もこの信念でやっていきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願い致します。私の卓話とさせて頂き、終りとさせて頂きます。これからもどうかよろしくお願いいたします。

~~~~~

#### 【1月にロータリーについてもつと学ぼう】

ロータリーについて実際どのくらいご存知ですか？1月はロータリー理解推進月間です。1月は私達のクラブや国際ロータリーについてもつと学ばなければならないときです。ロータリアン必携(RBL) から始めましょう。全7巻は、ロータリーの歴史やプログラムなどを解説した、ロータリー情報のミニ百科事典です。ロータリーにについて学ぶことは沢山ありますので、1ヶ月でも足りない位です。ですが、ロータリー理解推進月間中、少なくともロータリーについて何か新しい事を学ぶようにしようではありませんか？



## 東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：田中 貴 副委員長：奥田文夫・委員：赤尾英雄  
幹事：宮本 誠 副幹事：藤原二樹・津守弘範・南口洋三  
会報委員長：花立 清三郎

事務局：東京都多摩市落合547  
多摩センタービル7F  
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

\*例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤパティオケトルーム

\*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30